

# 小説の発刊・拡販を通じて 長江さんのことをもっと深く 多くの人に知ってもらいたい！

生田長江の小説発刊・拡販にむけて

## 会員募集！

小説「生田長江」を出版する会 ご入会案内

- 日野町内外を問わず、会の趣旨に賛同いただける方、本の予約獲得やご友人などへの紹介、SNSなどでのPRにご協力いただける方を会員として広く募っています。
- 会費は不要です。出版に関わる経費負担などありません。
- ご希望の方は氏名、電話番号・メールアドレス等を以てチラシ右下の紹介者までお知らせ下さい。（常時入会受け付け）



●愛娘まり子と、東京本郷区森川町の自宅庭にて

### 小説「生田長江」を出版する会へ設立趣旨

鳥取県日野町貝原の出身で、明治大正昭和にかけて活躍した翻訳家・批評家、生田長江の顕彰が多くの方々のお力で、進んできています。

平塚らいてうの名は、今も新聞で時折、見かける著名人ですが、このらいてうに、女性の手で作る初めての雑誌『青鞥』を勧めたのが生田長江です。

大正デモクラシーの流れの先駆けとして、男女同権の主張を掲げて華々しく登場した青鞥社と雑誌『青鞥』は、生田長江が平塚らいてうに何度も発刊を勧め、その資金はらいてうのお母さん光沢（つや）が出してくれるはずとまで教えて実現したものです。

長江はハンセン病に悩みながらも、その差別をものともせず、翻訳や評論活動など多くの著作を出版して、社会的な活動を旺盛に展開し、大きな足跡を残して五十四歳でこの世を去りました。

今、この長江の半生を小説として読みやすく紹介しようとして、小説『TATARA』『天の蜚』『日南X』などでおなじみ、鳥取県米子市在住の作家、松本薫さんに、小説「生田長江（仮）」の執筆に取り組んでいただいています。

この小説化によって、長江はグッと手元に引き寄せられ、親しみやすく誰にも理解でき、その存在を地域内外に広く知らしめることになると期待されます。

来年春には出版の予定ですが、この出版を成功に導くため、今から、小説「生田長江」を出版する会を作り、この書籍の頒布に力を合わせたいと考えます。

趣旨ご賛同いただき、この会に加わっていただいて、購入予約獲得など、可能な範囲で拡販にお力添えいただきますようお願い申し上げます。

令和五年五月吉日

発起人代表 河中信孝

「白つつじの会」生田長江顕彰会会長

### スケジュール

- 10月頃／脱稿～本の制作に着手  
発売日、販売価格などを決定  
▶予約獲得キャンペーン開始
- R6年1月頃／出版～販売開始  
ご予約者への引き渡し、発送作業  
▶出版記念フォーラムの開催（予定）

### 【発起人】

安達幸博・飯田頼昭・生田求・岡行男・河中信孝・神庭賢一・杉原幹雄・砂流誠吾・田貝英雄・田口郁江・永井伸和・松田暢子・矢辺慎一・山根美奈子

### 【協力団体】

「白つつじの会」

生田長江顕彰会

日野町男女共同推進会議ひの

伯耆国たたら顕彰会

生田長江ゆかりの延暦寺

日野町商工会

JA鳥取西部日野支所

奥日野ガイド倶楽部

●令和5年5月現在／順不同

小説「生田長江」を出版する会  
事務局／日野町図書館内

〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨 129-1  
TEL/0859-72-1300 FAX/0859-72-1320  
E-mail hinotosyo@book.town.hino.tottori.jp

紹介者



会員特典！

販売価格の割引  
+オマケが付くかも？

# 会員募集！

■事前予約などで発行部数が多く見込めれば見込めるほど、本の値段を軽減することができ、より多くの皆さんに手にとっていただきやすくなります。

そのためにも一人でも多くの方に、小説『生田長江』を出版する会にご入会いただきますよう宜しくお願い致します。

時代と格闘する  
長江、そして律  
～小説のあらまし～

始まりは明治の終わり頃。嫁ぎ先から離縁された南原律（21歳）は、根雨から上京し、生田長江の家で女中として働き始める。翻訳家、批評家として名を挙げつつあった長江は、女性の文芸活動を後押しし、平塚明子（らいてう）に『青鞥』を作らせた。その様子を見ていた律は、自分も自立したいと考えるようになる。

大正時代に入ると、長江はデモクラシーの先頭に立って活動する。社会主義への接近、妻・藤尾の死、『資本論』の翻訳と挫折、ニーチェへの親しみ、過酷な病……。時代と向き合い、自分自身と格闘する長江に影響を受けながら、律もまた自らの生き方を模索していく――。

現代に蘇る、  
日野町が輩出した  
生田長江の思想  
～小説出版の目的～

明治～大正～昭和にかけて翻訳家・批評家として中央文壇で活躍した生田長江。

当時の家父長制度や男尊女卑の世相の中で、いち早く男女同権の主張を掲げる『青鞥』の発刊を支援し、また社会主義や資本主義の限界性を看破して、その彼方を標榜した先見性は、今も根強いジェンダー不平等、地球の温暖化、格差の拡大などが全人類的な問題となり、SDGs（持続可能な開発目標）が声高に叫ばれる今日において、いよいよ再評価されるべきものです。

そうした長江の論評については難解さが伴い、一般にはなかなか理解しにくい側面がありますが、彼の中央文壇での華々しい活躍ぶりやその人生、人となりを織り込んだ小説として著すことで、広く全国～世界にその思想と存在を紹介することが本事業の目的です。

## 入会申込書

| お名前 | 住所 | 電話番号 | e-mail |
|-----|----|------|--------|
|     |    |      |        |
|     |    |      |        |
|     |    |      |        |
|     |    |      |        |
|     |    |      |        |
|     |    |      |        |
|     |    |      |        |

◆お預かりする個人情報は厳格に管理し、本事業の目的以外には利用しません。

申込／取りまとめ  
(紹介者)

氏名

連絡先

※人数がある程度まとまったら、事務局にご連絡ください。